

設問1	設問2	設問3	設問4	回答数	コメント1	コメント2	コメント3	コメント4
はい	賛成	現実的	思う	5	通信事業会社の社員としてユーザがどこまで従量課金の仕組みを受け入れてくれるかに興味を持ちました。 2-sided market のモデルは面白いです。電話と放送の両方の性質を持つインターネットは、両方の課金可能性を持っているのでしょう。ISPが儲からないと、機器ベンダーはおまんま食い上げです。 通信事業会社の立場としては、帯域に見合ったコスト回収が出来ればより最適なネットワークを作ることが出来ると考えています。 トラフィックに従ってISPの収入も増えなければ持続しません。ユーザ数はもう増えないので、帯域に課金するか、トラフィック増によって増えるユーザのアテンションを第三者に売ることになります(たとえばISP広告)。現在のルールでは、後者はできないと思うので、前者かなと。パケット数、時間はやっぱり時代遅れな気がしますね。 正直なところ、市場原理が働いた結果、靱点がどこになるかがわからないので安易には賛成も反対もできません。インターネットでは敷居が高いかもしれませんが、電話が出来ていることなので不可能ではないと思います。 複雑な方法は受け入れられないように思います。事業者が淘汰されて、インターネットの構造がもっと簡単になる必要があるかもしれません。 インターネット全員がやらないといけないですが、実現は難しいと思います。 表現の仕方だと思んですけど、今帯域がでないユーザに対して、いくらなら帯域がフルにでますと、げんじつ着きな金額を提示出来るかといひのかなと思います。 これは、受け入れられると思う、というよりも、受け入れてもらいたい、という気持ちです。 道路と同じで、実際に渋滞(輻輳)して、それを感じられるようになれば、受け入れられると思います。そうでなければ(おそらく現状はそうではない)、北海道の道路と同じで、支払う人はほとんどいないでしょう。使わない場合は安く提供するという前提があるとは思いますが。			
はい	賛成	現実的	思わない	1	トラフィックを使うユーザーはよいお客さんという点とスパム業者に課金をする試み等 設備産業あつてのインターネットなので、安い固定では事業者自体が疲弊して全体的に質を認める そういない限りいつか設備産業は崩壊する 思わないが、きちんと理由と原理を説明し、安かろう悪かろうという事業者へのシフトを誘導したい。			
はい	賛成	非現実的	思う	13	固定と無線で認識の差が大きいなとは思いました。 欧米の Mobile 系では、すでに boost 系の追加課金等がでており、そのソリューションの検討をしている身として興味深かったです。 サービスを提供する側にも「青天井はダメ」と考えている方がおられるとわかっただけでも良かった。 受益者負担は必要 ベストエフォートが幻想を抱かせないように感じています。 「繋がる」という基本は崩さずに、追加での収入を得ようとする、帯域が一番分りやすいから。 総転送容量なんてユーザは自分でカウントしていないが、帯域は今使っている体感速度だから受け入れられる。 受益者負担の原則から。 受益者負担の原則。 他に代替案が無い ある程度は仕方ないかと 現状の帯域の「コミット」という考え方でよいのじゃ？ 利害関係者が多い為 帯域の価格の作り方が、時と場合によって大きく違う 足並みは揃わないのではないのでしょうか。全体最適を思い描きながら、部分最適していく、しかないのでは？ プレイヤーが多すぎるから。 課金システムコスト、徴収コスト、踏み倒されるリスク、海外など参入しない事業者への対応など、解決すべき課題が多すぎる。 World Wide と異業種において合意のとれる基準が作成できない 集計が難しい ISP間のパワーバランスで比率がされそう AEONの980円SIMの人気などを考えると、ニーズはあると思います。 むしろ、パケット数より速度での課金のほうがわかりやすい これまでも PPP ⇒ ADSL ⇒ FTTH と、帯域を買うために料金の高い回線に移ってきており、その延長としてあると思う。但し、ISP やキャリア側でも、回線の論理速度ではなく、実効速度を明に顧客に示す必要があると思う。 PC本体に30~40万円をかけ、ゲーム等毎月数万円の課金を支払っているようなユーザは、帯域保証に対しても喜んで高額契約すると思う。 ちゃんと説明すれば大半の人が損をしていることが判る筈。 携帯電話等でも同様の仕組みがあるから。 但し、ペーユーザを抑制するレベルの価格に止まっているうちは パケット課金と同じ トランジットを購入している業者は帯域課金になっているため			
はい	賛成	非現実的	思わない	6	どこかでうまくいかなるだろうとは思っているが、それがどこなのかいまいち見えないし、これじゃね？という案もなかなか浮かばない。。 反対ではないので賛成にした。あくまで「帯域」が最終解という場合に賛成というかんじ。 公平性を確保できる方法だと思う。 事後精算ではなく予約と言う考え方は事業者・ユーザ双方にとって合理的だと思います。ただし、この仕組みの実現に要するコストが心配です。 設備投資側としては納得しやすいし、設備投資も進められそう。 受益に対応する対価が課金だと思うから う〜ん、うまくいくのかなぁ。。。可能であれば(可能にできるなら)現実的にしたいけど。 事業者間の接続形態が多様化している。価値創造側CDN事業者とそうでないCDN事業者や、とある閉域網内サービスはどう位置づけられるかが不明瞭。 インターネット全体の世界的な仕組みに影響する。コンセンサスが取りにくい。 「帯域」という概念が、エンドユーザに難しいのではないかなあと思うのですよ。 ほとんどのユーザは意識しないので、帯域課金を使いたいユーザのみ使えばよいのでは。 システムが複雑になりそのぶんまで軽減するしかないのでは高額になり得るか 「優先」に対する課金という考え方や仕組みについては、ベストエフォート型サービスの良さを維持しながら課題を克服する有力な手法であると思いますが、現実ユーザに理解を得るのは難しいかもしれないなと思いました。 ユーザー側としては元々ベストエフォートで提供されていたのではないかという意見が出てきそう。 「帯域」がエンドユーザに分りにくい。			
はい	反対	現実的	思う	1	もう少し具体的な説明があれば分りやすいが。。。QoS値による課金という意味か？ きちんとした説明があれば可能。			
はい	反対	現実的	思わない	1	自由に使いたいから。あんまりひどい人のみ勧告して課金 ただ、はじめると安かろう悪かろう事業者も出てくるのでそういうのをどう見極めるかが大事 料金固定、バイキング式が喜ばれる国民性の人たちが、使い放題に慣れてしまっているため			
はい	反対	非現実的	思う	0				
はい	反対	非現実的	思わない	2	ネットワーク屋の考え方としてはそういう発想になりますが、エンドユーザは帯域なんて普段考えていないと思います。 帯域課金はギャンティサービスのようなもので、それを謳うと保証しなければならなくなる。BEでしれっと制覇してしまった方がラク。 「事業者」のスコopが大きすぎてとても合意形成に至らないと思う。事業者は国内だけなわけでもないです。 大手有利のように思える(プライベートPeer問題と同じ事がおきそう) 前述のとおり、エンドユーザに「帯域」は見えないから。 多くのユーザは現状でそれほど困ってない。ISP側の都合で理由付けしても納得してもらえない。			
いいえ	賛成	現実的	思う	0				
いいえ	賛成	現実的	思わない	1	普段から考えています。 現時点で 帯域課金し・されている立場だが、 できれば情報の内容がわかっているのであれば Port番号制限を設けてでもより下り非対称課金という選択肢は無いのだろうか・・・と思うことがしばしば。。 条件付で。 実際のところは大規模ISPがほとんどの実権を握っている状態のため、そこでうまく調整して頂けるならそれで同じくらい幸せになれるかも？ やれないとは思わないが、 現時点で課金されていないものに対して課金されるという場合は必ず反発される為			
いいえ	賛成	非現実的	思う	1	モデルが難しく、理解できなかったため 今でもある程度帯域ベースで課金されているから その業務フローを実現できると思えないから 今でもある程度帯域ベースで課金されているから			
いいえ	賛成	非現時的	思う	0				
いいえ	反対	現時的	思う	0				
いいえ	反対	現実的	思わない	0				
いいえ	反対	非現時的	思う	0				
いいえ	反対	非現時的	思わない	2	全事業者の考えが規制されないと考えることさえ難しい 前から考えてました データ量ならば分かるが、ベストエフォートで帯域課金はない ユーザはそんなの求めてません。「帯域」って言わないでほしい。親にどう説明する？と考えたとき、困るねー SLAや規模など、違いがあり過ぎる 部分的にはPaid peerやCDNですでにやってるけど、「お金」と「全体」？ in your dreams 全事業者が統一される環境が整備されないと無理。また論理帯域が実帯域とはならない。 前述のとおり、「帯域」なんて理解できません。なぜなら見えないから。「容量」は見えます。課金するならそっちです。以上...			